



ハーブ ひまわり チキン

遺伝子組み換えでない飼料

non-GMO飼料使用

ハーブひまわりチキンの食べる飼料は、遺伝子組み換えでない作物を原料にした飼料からできています。



飼料への抗生物質不使用

ハーブひまわりチキンの食べる飼料に抗生物質は含まれておりません。抗生物質は疾病の治療を目的とした動物医薬品ですが、鶏が食べる飼料に添加しなくてもすむように、卵の段階でのワクチン接種を行い、また、病気しないよう衛生的に管理された農場の維持を心がけています。さらに、鶏の免疫力強化のためにハーブ由来品を使用しています。



動物質性飼料 不使用

ハーブひまわりチキンは植物性飼料のみで育てられています。一般的に日本国内で製造されているブロイラー用飼料は動物質性飼料を一部に含みます。その目的の一つに、短期間でカロリーを摂取させ鶏を太らせるという目的があります。

Global GAP 認証取得した農場

「農畜産物の安全性」、「環境保全」、「労働安全」、「人権保護」、「農場経営管理」などの200を超える項目において、基準をみたした農場であることが第三者認証機関により認められています。

エアーチラーによる 冷やしこみ

最終製品のドリップロスを少なくする冷却方法です。また、段をわけてコンベヤーを動かすことによって、効率よく冷却できます。マスターグッド社の場合、およそ2時間20分で3.0~3.5度まで冷却します。



成長ホルモン 不使用

EUでは、生体の増体目的のためにホルモン物質を使用することを禁じています。



飼料へのこだわり

GLOBAL GAP認証取得した自社飼料工場

自社の飼料工場では、飼料原料受入時検査や飼料最終製品検査を自社ラボで実施しています。さらにロット毎に保管を行い、万が一、トラブルが発生した際にさかのぼれることができるようにトレーサビリティ体制も整えています。自社の鶏が食べる飼料も自社で用意し、安定した品質の鶏肉を提供できるよう長年取り組んでいます。飼料工場では、殺菌された飼料だけではなく、鶏舎の敷料になる殺菌された小さなわらも製造しています。



飼料への抗生物質不使用

ハーブひまわりチキンの食べる飼料に抗生物質は含まれておりません。抗生物質は、わずかな量を飼料に添加するだけで動物の成長を促進することから、抗生物質の成長促進剤としての利用が世界的に行われています。2006年に欧州委員会は成長促進目的での抗生物質の販売・使用を全面禁止としています。なお、日本では、食肉への残留を防ぐため出荷前7日間に限って抗生物質の使用を禁じています。



ハンガリー国内で栽培された飼料原料の積極活用

特産のひまわり由来の「ひまわりオイル(リノール酸が含まれている)やひまわり粉末やひまわりたんぱく」、ハンガリー国内でとれるトウモロコシなどを飼料原料として使用しています。現在、主にイタリアからの輸入に頼っている高たんぱくな大豆に置き換わるものとして、特産であるひまわり由来の「ひまわり粉末やひまわりたんぱく」の割合を増やしていく考えです。結果的に、自国調達品が増えることでコストを低減することにもつながっていきます。



動物質性飼料不使用

ハーブひまわりチキンは動物質性飼料を与えず、植物性飼料のみで育てられています。動物質性飼料には、魚粉・チキンミール・ポーク&チキン混合ミール・フェザーミールなどがあります。動物質性飼料を使用した場合、適度な皮下脂肪がつき、食べたときに適度なジューシーさを表現させることができる反面、鶏臭さが出てきやすくなってしまいやすいです。



Global GAP 認証取得した農場

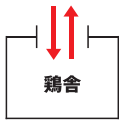
GAP : Good Agricultural Practice

あまりなじみのない認証制度ですが、東京オリンピック・パラリンピック競技大会における食材調達基準に定められている国際的な認証制度の一つです。ハーブひまわりチキンが育つすべての農場で、「農畜産物の安全性」、「環境保全」、「労働安全」、「人権保護」、「農場経営管理」などの200を超える項目において、基準をみたした農場であることが第三者認証機関により認められています。安全への取り組みは、当事者ではなく第三者で証明していく時代になってきています。



一般的な日本の鶏舎

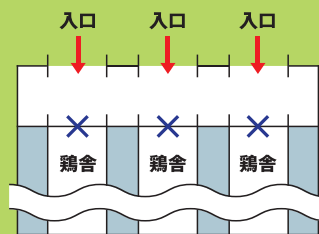
外部と鶏舎がこのような直接繋がっています。スタッフは靴底のみを消毒して、鶏舎に直接出入りします。



スタッフは入室時シャワーを浴びてから、専用の出入口より出入りします。また、①～③までの工程はそれぞれの担当スタッフが行います。

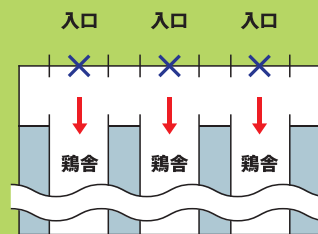
ハーブひまわりチキンの農場

①ヒナ受け入れ



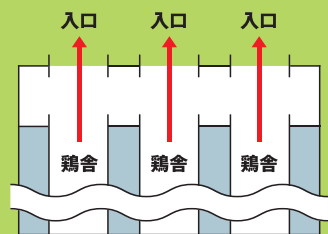
ヒナの受け渡し中は外部へ出られる扉が開放されているので、鶏舎入口を閉めます。

②ヒナ農場搬入



外部と接続している扉を閉めた状態で、ヒナを鶏舎に搬入します。

③成鳥出荷時



出荷したあとは、農場内の洗浄・殺菌を行います。



◀ハーブひまわりチキンは世界で3番目の処理能力を誇る大規模工場、丁寧に処理されています。



◀ハーブひまわりチキンの踏みしめる小さなわらは殺菌され、出荷まで非常にドライな環境を保っています。そのため、足の裏が大変きれいで、日々のケアが行き届いている証になっています。